

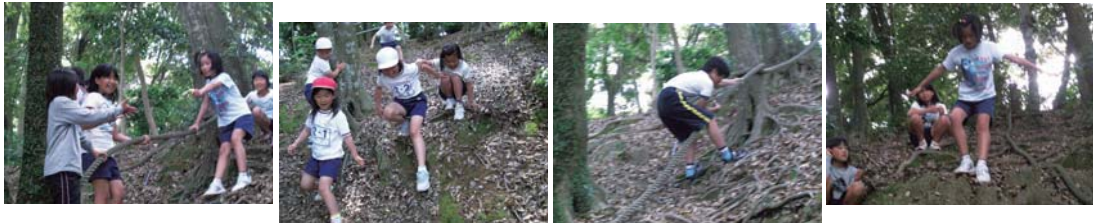


みんな大好き！「グリーン広場」

長崎県長崎市立横尾小学校
3年 阿部夏実
3年 小川友望

1. はじめに

横尾小学校は、長崎市北部の住宅街の中にあり、2年前に創立30周年を迎えました。全校児童450名の学校です。自慢の一つに、わたしたちが自由に活動できる自然林「グリーン広場」があります。「グリーン広場」は校舎のすぐとなりであって、わたしたちにとっては運動場と同じように、いつでも学習したり遊んだりできるところです。昼休みや放課後、休日にもたくさんの人が木の実拾いや昆虫さがし、探検など夢中になって遊んでいます。



「見つけたよ！」
昆虫や野いちごも
見つかります。



夏休み前のある日…

校長先生と一緒に特製の蜜をもって、グリーン広場へ出かけました。ねらいはカブトやクワガタです。木に蜜を塗って…集まるかな？わたしたちは夏休みになるのをとても楽しみにしています。



2. 学年の活動

(1) 2年生

① 「そうめん流し」 (親子レクリエーション)

昨年の夏休みのお楽しみに「そうめん流し」がありました。お母さんたちが野外炊飯場そばに、竹を組んだ本格的な仕掛け作ってくれたのです。そうめんが流れてくるたびに、ワアワア言いながら、おいしいそうめんをいただきました。



②焼き芋（生活科）

2年生は、サツマイモ作りも行っています。自分たちでお世話を行い、11月には芋掘りをし、グリーン広場の野外炊飯場で焼き芋にして食べました。木々や枯れ葉などには事欠かないグリーン広場。わたしたちはあっという間にちらばって、森からたくさんの枯れ葉や枯れ枝を集めてきました。



(2) 5年生

「ダイナミックスペース」(図工)

グリーン広場の特徴を生かして、各グループごとに、自分たちの良い場所を見つけて、枝や木ぎれを利用してつくりました。



(3) 4年生

「ネイチャーゲーム」(親子レクリエーション)

長崎市ネイチャーゲームの会事務局長の楠本さんを講師にお招きして、グリーン広場でゲームをして楽しいひとときを過ごしました。

ゲームの紹介：『宝探しゲーム』
『どんぐりさがしゲーム』



3. グリーン広場の整備作業

わたしたちが大好きなグリーン広場も、下へおりるための階段が崩れていたり、手すりがぐらぐらと動いていたり…と少し心配な箇所があちらこちらに出てきました。そこで、立ち上がってくださったのがお父さん方や地域の方々、それに先生たちです。みなさんのものすごい協力で、安心して遊びに行けるグリーン広場に生まれ変わりました。わたしたちが楽しく遊べるためには、グリーン広場を守っていくことが大切です。わたしたちの横尾小学校は、困ったことがあると、PTAだけでなく、地域の方々がおうえんしてくださるので、うれしいです。



4. 最後に

みんなが大好きなグリーン広場。たくさんの発見や、楽しい思いがあります。これからも全校のみんなで、「グリーン広場」を大切に、自然の中で遊んだり、勉強したりしていこうと思います。

私たちの「芳野みんなの森」

熊本県熊本市立芳野小学校

6年 平野悦司

6年 林田夏美

1 はじめに

校区の概要：熊本市の北西に位置し、金峰山から北へ直線距離で3キロ。

標高355メートルに位置する。周囲はミカン畑やナシ畑が多い。

本校の沿革：大正10年開校。本年度、児童数93名。学級数6。

芳野小学校の環境緑化スローガン

芳野小学校では、芳野のよさ、素晴らしさを知り、芳野の特性を生かした教材開発や体験学習を取り入れること、ふるさとを愛し、進んで関わっていこうとする子どもを育てることを目標としている。その中で、【足をとめ、目をむけ、心をそそぐ環境緑化活動】を環境緑化のスローガンとして進めている。

(芳野小学校 正門付近)



2 芳野みんなの森の環境整備

(1) 平成14年度より5カ年計画で、『なかよしランド』の整備開始。

下草刈りをし、ランニングコースづくりをする。読書の森の完成。

(2) 平成18年度 熊本森林管理署と「遊々の森」協定締結。

『芳野みんなの森』と命名。野鳥の森・森の教室・遊歩道の完成。

(3) 平成19年度より熊本県学びの森活動推進事業（協力：熊本県みどり推進室）により県の助成を受けて森林整備や学習支援を充実。

3 芳野みんなの森での活動

(1) この木なんの木？クイズ

森の中の木々には、樹木札に木の名前と番号をつけている木と番号だけの木がある。番号だけの木を見て特徴をつかみ、名前を調べたりできるようにしている。

今回のクイズは、全児童を異学年で8つのグループでチームを作り、20分休みを使って行った。

1回目は、木の番号を書いたものを渡し、葉の形・葉の基部の形・葉のつき方・葉の縁の形などの特徴を調べ、木の名前を調べた。

2回目は、木の幹などの写真から木の名前を調べるクイズを行った。

みんなで森の中を駆け回って調べ、楽しい時間を過ごすことができた。

(この木なんの木クイズ)



(クイズの問題)



(2) 休み時間の活動

なかよしランドには、周囲をランニングコースにし、中にはロープを結びつけて垂らしたもののや、ブランコなどがつくってあり、楽しく遊ぶスペースになっている。

20分間の休み時間や昼休みにはよく遊びに行っている。また、木の陰にすみかを作ったりして遊んだりする姿も見られる。

(休み時間のなかよしランド)



(3) カブトムシのすみか作り

校庭の腐葉土置き場にたくさんのカブトムシの幼虫が育っていたので、森の中に穴を掘りカブトムシを育てることにした。大きな穴を掘り、森の中の腐葉土を集め、その中に幼虫を入れた。囲いを作りネットをかぶせ、カブトムシが誕生するのを待っている。

(腐葉土をたくさん集めて)



(カブトムシを探す子ども)



(4) その他

○熊本の木を学ぶ授業

県林業振興課の職員を講師に迎え熊本の林業について学んだ。

○バードウォッチング

2月に野鳥の会の方を講師に迎えて、校庭や森でバードウォッチングを行った。

○森の土壌生物調べ

森の中で土を採集してきて、どんな生き物がいるのかを調べた。

○シイタケ駒うち

1・2年生でクヌギやナラの枝に、シイタケの駒を打った。

○読書の森

石のテーブルや椅子に座り、学校司書が本を紹介したり、好きな本を持ち込んで読書したりする。

○野外給食

年に1・2回、給食室からお弁当を作ってもらい、自分の好きな場所で食べる。

4 おわりに

周りが森に囲まれてはいるが、普段の生活では十分に楽しむ機会は少ない子どもたちも、1.83haの国有林が学校に隣接していることで、いろいろな活動することができるようになった。子どもたちが自分の故郷を誇りに思い、故郷を大切にしようとする大人になってくれるのを期待している。

『芳野みんなの森』は、小学生だけでなく、近くの保育園のお散歩の休憩場になることもある。これからは地域の方にも楽しんでもらえるような空間になるように整備していきたいと思う。

横山リゾートカンパニー

熊本県植木町立山東小学校

6年 羽山美里

6年 村本春香

1 わたしたちの学校

山東小学校は、熊本県の植木町にあります。小野泉水公園とホテルとスイカで有名です。来年度は、100周年を迎える、全校児童246名の学校です。

きらめきタイ夢（総合的な学習の時間）では、各学年栽培活動に取り組んでいます。サツマイモ、大根、大豆、スイカなどを地域の方々と一緒に育て、自然の大切さ、命の大切さを学んでいます。



2 緑・楽しさ・感動いっぱい さわやか山東

学校のすぐそばには、横山があります。その大きさは、標高127m、東西約1200メートル、南北約600メートル。ヒノキ、クヌギ、ヒサカキ、クロキ、アラカシ、ナナメノキなどの木々が広がる自然林です。頂上からの見晴らしはすばらしく、阿蘇山や金峰山も見えてとってもきれいです。横山は、みんなが大好きな場所です。



横山では、夏には、カブトムシ、クワガタがとれます。樹液のにおいのする木を探すと、見つかりやすいですよ！

(1) 横山リゾートカンパニーの歩み

平成16年まで、横山は近くにあるけれど長い間ほとんど人が入らなかった荒れた里山でした。昔は通学路でもあり、薪を切り出すなど生活に密着した山でしたが、私たちが入学する前は、横山に入って遊ぶことはほとんどなかったそうです。

私たちが1年生の時、その当時の6年生が、まず通れなくなっていた道の整備から始めたそうです。ノコやナタ、熊手やほうき、スコップを使って倒木や枯れ枝を片付け、頂上までの道が開通しました。ベンチ、案内板、ミニ広場数カ所、樹木の名札もできました。地域の方と一緒に、植樹したカシやコナラ、ヤマモモなどの広葉樹320本も、年々生長しています。

目の前にあっても身近ではなかった横山が、6年生の活躍で、本当に私たちにとって身近なものとなりました。

(2) 横山リゾートカンパニー

★ふれあい集会★

5年生が企画運営をし、全校児童で6年生とのお別れ集会を3月に横山リゾートカンパニーで行っています。みんなの笑顔があふれる楽しい自然活動です。



★しいたけを育てよう★

4年生がしいたけのコマ打ち体験をしています。台風で倒れたクヌギの木を利用し、ドリルを使ってコマ穴を開けて、金槌でコマを打ち込みます。二梅雨過ぎた秋の、6年生になったときに収穫ができます。



★整備活動★

きらめきタイム（総合的な学習の時間）で6年生は、整備活動を行っています。5月は、ハチ取り器を作って、人が通らない日陰の枝、高さ2メートル位の所に取り付けました。ペットボトルの中に赤ワイン・酢・砂糖を入れて、ハチが入る穴を開けました。甘酸っぱいにおいにハチが寄ってくるようです。

★自然体験クラブ★

草スキーをしたり、秘密基地作りをしたり、横山での活動を楽しんでいます。自然の中で遊ぶ経験が少ないので、いつも時間が経つのを忘れて遊んでいます。

★木工教室★

5年生は、横山の森に親しみ森林の学習をした後に、間伐材を使って本立てや、プランターを作りました。金槌や、のこぎりは難しかったけど、楽しかったです。



(3) 未来の横山リゾートカンパニー

天気がいい日には、近くの山東保育園の子どもたちもお散歩に来てくれます。私たち小学生だけでなく、小さい子からお年寄りまで遊びに来てくれる、安全で楽しい横山にするため、2学期からの活動もがんばっていききたいと思います。

3 まとめ

私たちの横山には、すばらしい自然がたくさん残っています。横山は、私たちの財産です。先輩方、地域の方々が築いてこられた横山をこれからも大切にしていきたいと思っています。

「受け継ごう学校林」

大分県日田市立高瀬小学校

6年 山崎加奈

6年 熊井 綾

1 学校の紹介

私たちの高瀬小学校は、大分県の西部、日田市にあります。日田市は、周りを緑の山々に囲まれた盆地で、古くから林業の町として栄えてきました。高瀬小学校は、市の南西部、サッポロビール新九州工場のすぐ近くに 있습니다。学校の南側一帯は、深い杉林となっています。また、学校の隣に林業センター、すぐ近くに製材所があり、市内の小中学校の中でも特に林業と関わりの深い学校です。

2 学校林の歴史

(1) 学校林の始まり

学校林は、第7代の高原力太郎校長先生の時代、明治43年（1910年）に、「木を植えて人を育て、木を育てて人も育つ」という考えの下に、学校改築のお金を得るため、横尾地区の原野4町分を借りて、杉9700本を植樹したのが始まりです。

(2) 学校林の維持・管理

学校林は、校区に住む有識者の山林顧問の方々、育友会、学校の協力で維持・管理されています。

ア 植林&下草刈り・枝打ち

植林は、学校林創設の時期に、横尾地区にまとめて多くの杉が植えられました。この時は、子ども・親・地区の方が出て植えました。戦後になって、鳥越地区に新たに土地を得て、植林されました。戦後は、子どもが関わることはほとんどなく、育友会が中心となって植林しました。平成6年から、卒業記念植樹として、3月に卒業生と保護者が植樹を行うようになりました。

下草刈り・枝打ちは、毎年2回（7月と9月）、父母が中心となって行っています。育友会の活動に位置づけられ、祖父母の時代から続いているそうです。卒業生は、3月に少しだけ体験活動を行います。

(写真1)



卒業記念植樹をする6年生

(写真2)



下草刈りをする育友会の方々

イ 伐採

伐採は、これまでに2度行われました。

1回目の伐採は、昭和33年から34年の旧校舎建築の時に行われました。学校林が始まった時に植えた木のほとんどを伐採しました。

2回目の伐採は、昭和61年から平成3年にかけての新校舎建築の時に行われました。1回目の伐採の後に植林をした木を中心に伐採されました。

3 今年の活動

今年度、私たちは総合的な学習の時間に『受け継ごう学校林』というテーマで学習を進めてきました。

勉強してきたことは、次の通りです。

(1) 学校林について調べよう

学校林について知っていることを出し合いました。自分達だけでは何も知らなかったのですが、家庭でも調べてくることになりました。少しずつ学校林のことがわかり始めた時、先生は玄関にある切り株や学校沿革誌、児童玄関の通し丸太、校舎の壁板などを示して、学校林と校舎の関係について話してくださいました。それで、学校林の大体の歴史と活用について調べることができました。

(写真3)



樹齢84年の切り株

(写真4)



児童玄関の通し丸太

(写真5)



学校林を使った校舎

(2) 森林・学校林について学ぼう

校区に住む林業家の「長 哲也さん」をお招きして、『森林・学校林について学ぼう』という学習会を行いました。

長さんは、森林の働きと環境問題を中心に、森林が動物たちの命を守ること、水をたくわえること、土砂崩れが起こりにくくすること、二酸化炭素を吸収固定して温暖化の防止につながることを話してくださいました。

(写真6)



講演を行う長さん

(3) 下草刈り・枝打ちを体験しよう

育友会の方々が行う下草刈りに合わせて、下草刈りと枝打ち体験を行いました。

山林顧問の木下さんが、枝打ちの仕方や下草の刈り方、年輪の見方なども教えてくださいました。のこを使っての枝打ちにも、木を痛めない切り方がありました。下草刈りは、鎌と機械を使って行いました。だんだん腕や体が重くなり、林業の大変さが少しだけわかりました。

(写真7)



枝打ち体験

4. 終わりに

私たちが勉強してきた「学校林」は、環境にも深く関わっていることがわかりました。

私たちの学校は、平成13年に学校版環境ISOを取得し、水、電気、物を大切にする活動を全校あげて行っています。私たちが受け継ぐ学校林が、水や空気を守り、動物や人間の命を守ることにつながることがわかりました。今一番の問題となっている地球温暖化の防止につながるよう、森を、そして環境を守る取り組みをこれからも続けていきたいと思っています。

3月には、卒業記念として新しい苗木を植える予定です。これからも高瀬小学校の学校林が続いて、少しでも環境の役に立つようにしていきたいと思っています。

港っ子の「冒険の森」活動

宮崎県延岡市立港小学校

6年 長友佑果

6年 松本悠希

1 はじめに

宮崎県は、「どげんかせんといかん」の東国原知事、マンゴー、地鶏で有名になった太陽とみどりに包まれた自然豊かな県である。

延岡市は、宮崎県の北部に位置し、藩政時代は内藤藩七万石の城下町として栄えた。近代に入っからは、東九州の工業都市として発展してきた街であり、工業都市としての顔と、豊かな自然に恵まれた歴史文化都市としての顔をあわせもつ街である。

本校は、創立133年の歴史の古い伝統校である。延岡市の北部、北川・五ヶ瀬川・祝子川の集まった河口の東岸部に位置し、壮大な自然に囲まれている。学校の裏手には学校林が広がり、広葉樹や野鳥の種類も多い。その中に「冒険の森」と「夢の冒険小屋」と呼ぶログハウスを設置している。児童数は19名の極小規模校、複式学級を有する学校である。年間を通して、花いっぱい活動に取り組んでいる。平成19年度は、第14回「花とみどりのみやぎづくりコンクール」（宮崎県主催）で奨励賞を受賞した。

2 学校林「冒険の森」活用の実践

(1) 梅林の活用

昭和33年に卒業記念樹として梅の木50本を植樹して以来、毎年、「港小ならでは」の教育活動として梅ちぎりを実施している。

① 梅ちぎりの実施

全校児童、保護者、地域の人々、保育園児童が参加して、5月下旬に梅ちぎりを行っている。中・高学年は「総合的な学習の時間」に、低学年は生活科の時間を使っている。児童は、全員「みどりの少年団」の制服を着て作業をする。

- ア 始めの会 … 高学年児童による進行
- イ 梅ちぎり … 縦割り班でペアになり実施
- ウ 梅の選別 … 保護者・地区の方・高学年
- エ 梅の袋詰め … 低学年（1kgずつ量る）
- オ 梅の販売 … 高学年

梅ちぎりをした後は、各学級ごとに梅シロップを作る。その他、梅の実の効用や由来などを調べる学年もある。



【梅の袋詰めをする低学年】



【梅の販売をする高学年】

② 梅林の世話

児童一人が2本ずつ自分の梅の木を決め、その世話している。自分の梅の木に名札をかけて、年間責任もって世話をしている。梅林の世話の主な内容は次の通りである。

- 礼肥 … 8月下旬にみどりの少年団活動として行う。梅の木の根本に肥料を与える。
- 寒肥 … 1月下旬から2月上旬の梅のつぼみがついた頃、業間活動のフラワータイムに肥料を与える。

(2) 「冒険の森」の活用

① 総合的な学習の時間での活用

ア 中学年の実践…「冒険の森の図鑑を作ろう」季節ごとに、冒険の森と夢の冒険小屋周辺の様子を図鑑にまとめる。毎月「冒険の森」を探検し、植物の種類や様子、野鳥の様子などを調べていく計画になっている。

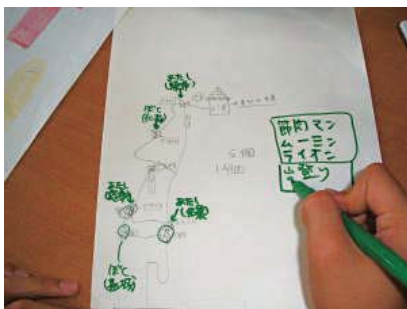
調べたことは、月ごとにまとめていき、3月には「冒険の森の四季図鑑」を仕上げる予定である。見つけた植物で首飾り作りなども楽しんでいる。



イ 高学年の実践 …「夢の冒険小屋までの案内板を作ろう」

夢の冒険小屋までの4つのコースがわかるように、案内板を作る。以前に卒業生が作った案内板があるが、古くなって壊れたり、文字が薄くなったりしているので、児童の希望により「案内板を作ろう」という課題を設定して活動した。事前調査で、現在の案内板と新しく設置した方がよい箇所、作り替えた方がよい案内板を調べた。

事前調査後、グループで話し合い、案内板の原画作りをした。原画をもとにして、2学期に案内板を完成させる予定である。



【事前調査でのメモ】



【案内板の原画】

② 業間活動（パワーアップタイム）での活用

毎週月曜日と木曜日の業間時間（10：15～10：30）をパワーアップタイムとして基礎体力の向上を図る活動をしている。鬼遊び・ボール遊び・固定施設遊びなどの遊びを通して体力向上を図る活動、50m走やペース走、持久走などの体づくりの運動などを意図的計画的に取り入れて実施している。その中に「冒険の森」の活用がある。児童の体力にあわせて、それぞれコースを選び、「夢の冒険小屋」をめざして登っていく。

- らくだコース … 初心者コース。山小屋まで道に沿って歩くコース
- アンパンマンコース … 途中から、ロープを使って登るコース
- いのししコース … 道に沿って下るコース
- さるコース … 途中からロープを使って下るコース

③ その他の活用

- 国語科学習 … 短歌・俳句・作文
- 社会科学習 … 地域の位置確認、地図学習
- 理科・生活科学習 … 自然の生き物、野鳥、植物の観察
- 図学工作学習 … スケッチ、工作の材料集め

3 おわりに

本校は、学校の裏手に学校林を抱え、豊かな自然に恵まれた環境にある。自然というものが児童にとって、身近で当たり前なものになっている。学校における教育活動にもこれらの自然を活用することができている。しかし、児童にとってあまりにも当たり前すぎて、自然のありがたさや自然に対する畏敬の念を忘れがちである。これまでの活動に加えて、今後は、自然の恵みに対する感謝の気持ちや畏敬の念をもたせるような教育活動を工夫していきたい。